

第24回 防府市都市計画審議会議事録

令和3年2月10日開催

防府市都市計画審議会

第 2 4 回 防 府 市 都 市 計 画 審 議 会

日 時 令和3年2月10日(水) 10:00~10:40
場 所 防府市文化福祉会館3階4号大会議室

<出席委員>

徳山工業高等専門学校教授	佐賀 孝徳
山口県立大学教授	前田 哲男
防府商工会議所会頭	喜多村 誠
防府市農業委員会会長	藤井 伸昌
山口県建築士会防府支部 副支部長	原田 和彦
防府市議会議長	上田 和夫
防府市議会副議長	橋本 龍太郎
防府市議会議員	曾我 好則
防府市議会議員	河村 孝
国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所長	松本 幸司
山口県防府土木建築事務所長	片山 克浩
山口県山口農林水産事務所長	久田 恒夫
山口県防府警察署長	錨 敏之
防府市自治会連合会	山崎 博英
防府市女性団体連絡協議会	大村 弘子

<市出席者>

防府市長	池田 豊
事務局	
土木都市建設部長	友景
土木都市建設部理事	入江
土木都市建設部次長	
兼都市計画課長	石光
まち並みデザイン室長	野間
課長補佐	岩下
技術補佐	林
計画係長	渡邊
計画係	田中、上野

<傍 聴>

傍聴人	なし
報道	なし

審議会概要

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 資料確認
- 4 委員の紹介
- 5 定足数の報告
- 6 常務委員の選出
- 7 署名委員の指名

8 審議会の公開について

○会長

審議会の公開についてお諮りをいたします。本日の審議会は「公開」で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○各委員 異議なし

○会長

異議なしということで、都市計画審議会は「公開」ということで進めたいと思います。傍聴人の方がおられれば、入場の案内をお願いいたします。

9 議事

○会長

続きまして、次第4「議事」でございます。本日は1件ございます。事務局の方からまず議案についての説明をいただいて、質疑に入りたいと思います。それでは、事務局、議案第1号についての説明をお願いいたします。

○事務局 議案第1号を説明

○会長

委員の方から、御意見いただきたいと思います。

○委員

右下のページで65ページですけれども、都市機能・生活機能誘導に関する施策として、真ん中辺りに、「市街地整備事業等による民間活力の導入」というところがございます、「小規模区画整理事業及び小規模再開発事業等による都市機能の誘導・強化を検討します。」と表現をされていますけれども、これに関して、もう既に候補となる地域とか場所が想定されているのかどうかをお尋ねしたいと思います。

○事務局

小規模区画整理事業、再開発事業につきましては、現在のところ想定されている事業というものはございません。ですが、この度の総合計画と時期を同じくして公表することを予定しております空家等対策計画の中で、空き家を活用しながら居住を市街地へ誘導することも検討しております。立地適正化計画を策定しますと、居住誘導区域内において小規模な区域での権利変換等が行えるというような制度がございますので、そういった案件が出てきました時に積極的に活用できるようにと記載させていただいたところでございます。一つ前の64ページに「低未利用土地権利設定等促進事業」というものがございますが、こういった事業も活用できればというところでございます。以上でございます。

○委員

この立地適正化計画は、私は大変結構なことだと思います。人口が減少する中で、そういうコンパクトシティを作っていくということについては、私も従来から申し上げていることなので、今後そういったところは積極的に進めていかないと、様々な問題が起きてくるのだらうと思います。

防府市の第5次の総合計画の中でもありますけれども、中心市街地を活性化させていく中で、駅北の公有地を中心とした駅北地区の都市機能の充実、民間活力の導入は、確かにそのとおりだろうと思います。まだ様々な可能性を秘めている地域だと思うので、再開発だとか区画整理とまではいかないまでも、何か道路を作っていくとか、計画が少しずつ明らかになると、民間の人達もより具体的に様々な検討ができるのではないかと思います。なかなかその辺の難しさもあるとは思いますが、行政として何か、とにかく道路ですね、道路だとか区画だとかいうことが出てきたら、更にいろんな民間の人達が、またビジネスという世界から、「よしやってみようか」というような需要もあるのではないかと、私はその辺に大きな期待をしておるところです。そういうところが無いと、中心部に人を集めようとか都市機能と言っても、現実に民間だけでできることは限られていますので、道路とか区画とか、そういったことがもう少し出てくると尚いいなど、常にそう思っています。よろしくお願いします。

○事務局

駅周辺の整備についてということで、今、市で取り組んでいますのは、駅北の東側、市道栄町藤本町線の拡幅工事に着手をしております。総合計画で言いますと、42ページに記載をしておりますとおり、道が狭いということで、昔からの木造の家屋や、筆界が未確定のところ等々を整理しながら、道路を整備していきまして、それを起爆剤として、民間活力を導入できればということで、地権者等といろいろな協議を進めているところでございます。

また、駅北の西、旧官舎跡地、こちら42ページの図の中にA・B・C・Dという形で書いておりますけれども、こちらにつきましては、土地利用とこの街区に必要な道路等を検討するための検討会議を令和3年度から実施するというので、今、作業を進めております。

という形で、道路を中心にまちを作っていければということで、市の現在の取り組み、またこれからの取り組みについて御紹介をさせていただきました。以上です。

○委員

皆さん御存じだと思いますけれども、旧商工会館も3月末までに解体となりますが、あの辺がこう建物が無くなってくると、市民の人も見た時に大分景色が変わって、「空いているなあ、この土地は。活用できるのではないかな。」と思いますから、そこに道路が相まってくると。そのスピード感が必要だと思いますから、是非期待をしておりますので、いろいろな案をお示しいただいたら、喜ぶ人もいると思いますので、よろしくお願いします。

○会長

議案書の最後にもありましたように、今は「PDCAサイクル」ではなくて、「OODA（ウーダ）ループ」で、機動的に、どんどんされていくということだと思います。今、コロナ禍で、交通網が、いろいろなマイナスがあるという話もございますが、交通網についても、随分これから変わっていくことが予想されております。そういう意味でも、機動的に状況を判断して、迅速に進めていくことが大事かと思えます。

○委員

今、交通の話が出ましたが、路線バスの検討ということもあるのでしょうかけれども、これからは、MaaS（マース）だとか、地方における交通というのは大きく変わっていくのではないかという気がしますので、併せてそういう研究を積極的にされたら尚いいのではないかと、路線バスだけで解決できるのかと思いました。よろしくお願いします。

○事務局

御指摘はごもっともなところでございますが、感染症対策も含めて、公共交通のあり方であるとか、需要なども随分変わってくるのだろうということは、想像が付くところだとは思っています。運転手の数が足りないという現実もございまして、その路線バスを維持していくことも非常に難しい、厳しい状況になっております。勉強会の際に、御指摘のございました自動運転であるとか、そういったものへの展開でまた変わるのではないかという御意見がございました。国、あるいは民間事業者でも、積極的にその辺の研究がなされているとは思っています。御意見は参考にさせていただきますが、公共交通等含めて交通政策の担当部署にも報告したいと思えます。ありがとうございます。

○会長

皆様方も御存じのように、CO2対策ということで、純ガソリン車というのが無くなって、電気自動車、ハイブリッドカーという形になるだけではなく、自動運転、デマンド型交通とか、そういう形のものにどんどん進んでいく、こ

の辺の進歩はものすごく早いみたいで、そういう交通体系のある都市を作るというような話もあります。今ある既存のまちをどうするかというのは大変でしょうけれども、どちらにしても、今の技術、交通網、それに応じての輸送システムは大きく変化する可能性がございます。そういった意味で、機動的に、状況に応じていろいろなことを進めていくべきであると思います。

質問等いろいろいただきましたけども、他、ありますでしょうか。

無いようであれば、原案のとおり意見なしでよろしいでしょうか。

○各委員 異議なし

○会長

それでは、今の審議においては、原案のまま答申したいと思います。

以上を持ちまして、本日の審議を終了いたします。厳正なる御審議をいただきありがとうございました。

10 部長挨拶

11 閉会